



すまいる・あくしょん公式キャラクター
「にじはび」

【学習会①】仲間とつながる。みんなで考える。 ～これから子ども県議会を、自分たちの手でつくっていこう！～ 2026年8月30日(日)

滋賀県
子ども県議会
事務局発行 / No.2



8月30日（日）滋賀県庁新館7階を会場に、子ども県議会の学習会を開催しました。

今回のテーマは、これから一緒に活動していく子ども議員同士が、お互いを知り、「みんなが安心して意見を出し合える子ども県議会」を自分たちで考えること。午前と午後の活動を通して、これからの子ども県議会に必要な「協力すること」「相手の意見を聞くこと」「自分の考えを伝えること」について体験しながら考えました。

協力するって、意外とむずかしい!?

午前中は、アイスブレイクからスタート。少しずつ緊張をほぐしながら、グループワークやイニシアチブゲームなど、仲間と協力しなければクリアできないさまざまな課題に挑戦しました。

「こうしたらできるんじゃない?」「一回やってみよう!」「でも、みんなはどう思う?」

ひとりのアイデアだけで進めるのではなく“みんなで話し合い、試してみて、うまくいかなければもう一度考える”活動が進むにつれて自然と会話も増え、最初は緊張していた子どもたちの間にも、笑顔や声を掛け合う姿が見られるようになりました。その一方で、「みんなで決めること」「全員が納得してから行動すること」の難しさも体験しました。単にゲームを楽しむだけでなく、これから子ども県議会では話し合っていくために大切なことを、実際の体験から感じる時間となりました。



「話しやすい雰囲気」って、どんな雰囲気？

午後からは学年ごとのグループに分かれ、「どんな雰囲気だったら、自分の意見を言いやすい？」
「逆に、どんな雰囲気だったら話しにくい？」という問いについて話し合いました。

午前中の体験も振り返りながら、自分が話していて嬉しかったこと、嫌だと感じること、みんなで活動するとき大切にしたいことを出し合いました。



子どもたちから特に多く出てきたのは、
「人が話しているときは最後まで聞く」「相づちを打つ」「話している人を見る」「最初から否定しない」「相手の意見を尊重する」「失敗を責めない」「笑顔」「みんなで協力する」「学年や年齢に関係なく対等に話す」といった意見でした。

反対に、「無視する」「話をさえぎる」「最初から否定する」「人の悪口を言う」「失敗を責める」といった態度は、意見を言いにくくしてしまうという声もあがりました。

子ども議員の活動後の振り返りからは…

活動後のふりかえりにはこんなことが書かれていました。

- ・新しい人と会えたし、みんなと意見を出し合えた。
- ・チームビルディングができた。
- ・男女関係なく会話ができる人が増えた。
- ・同じ学年の人と仲良くなれてよかった。
- ・どうしたら4年生から中学生まで、みんなが話しやすい県議会になるかを話せて楽しかったけど、難しかった。
- ・この前より仲が深まった気がしました。これからも仲良くなった人たちと頑張りたいです。

ここから始まる「私たちの子ども県議会」

- 今回の学習会で大切にしたのは、単に仲良くなることだけではありません。
- ・一緒に挑戦する。
 - ・うまくいかなければ話し合う。
 - ・違う意見にも耳を傾ける。
 - ・そして、みんなが参加できる方法を考える。

午前中のチームビルディングでそれを「体験」し、午後からは、その体験を「言葉」にして、自分たちのルールへとつなげました。これから地域体験活動や学習会を重ね、最後には自分たちの思いや考えを県議会に届けていく子ども議員たち。みんなが安心して意見を出せる子ども県議会を、子ども議員自身の手でつくっていく。その第一歩となる一日になりました。

